広島市老人大学院 OB会ニュース

発行責任者
OB会会長
新宮　勝哉

年頭のご挨拶

OB会会長　新宮勝哉

新年明けましておめでとうございます。OB会の皆様には、お元気で明るいお正月をお迎えの事とお慶び申し上げます。昨年は、皆様方から暖かいご支援・ご協力を賜り、お陰様で明るく楽しいOB会活動を送らせて頂きました。今年も明るく楽しいOB会活動が出来ます様心から願っています。昨年は、年明け早々から色々な出来事がありました。第1点は、時代の流れから大学内に改革旋風が吹き始め、社協を中心に四社（大学・院・OB会・市社協）による「大学見直し検討委員会」を立ち上げ、学生のアンケートを募集しました。項目の多い順に整理し、出来ることから手を付けました。大学・大学院に於いて、校名変更、学生証の発行、校歌の制作等を協議検討しました。そして、校名を数案に絞り込み、投票によって「広島市シニア大学」と命名しました。後は、流れに従い、学生証の発行・校歌の制作等それなりのものが出来ました。OB会でも、大学・大学院の動きをこのまま放置はできないということで、アンケート調査により、校名変更の賛否を取っています。近々結果が出る事でしょう。第2点は、社会福祉センターが、千田町から南松原町へ移転したことです。建物が移転しただけでなく、建物の内部が変わったため、使用できる部屋数が少なくなり、サークル活動に支障を来す様になった事、又講座に使用するホールが、普段3部屋の会議室に区切られており、講座会場の設営に多大な手間と時間が掛かるようになった事です。会場設営に関しては、取り敢えず執行部・学習部・事業部および各班からの応援の総勢15～16名で行ってみますが、後は、結果を見て対処しましょう。第3点は、千田町から広島駅前へと場所が良くなった為、応募者が増え会議室の確保が困難に成った事、又会議室使用に関する手続きの窓口が一本化され、手続きが厳しくなった事です。大まか、このような状況ですが、会議室予約の厳しさや、会議室確保の難しさに関しては、此れからも暫く、問題が続くのではないかと心配しています。年明け早々難しい話ばかり並べましたが悩んでも成るようにしか成りません。何はともあれ、前進あるのみです。28年度OB会も前半を終えました。残す後半、「明るく・楽しい・生き甲斐づくり」を目指し、役員一同皆様と共に頑張っていく所存でございます。本年も暖かいご支援・ご協力を頂きます様宜しくお願いいたします。

ご案内

平成29年度　開講式・第一回講座・定期総会の開催　H29年5月11日(水)
受付11：30　開校式12：00
広島県民文化センター・ホール

総務部ニュース

総務部部長　萩守　才造

◆28年度芸能発表会反省会開催
10月7日（金）53名出席

◆B班合同懇親会開催
（5・6・7・8班）
10月26日（水）72名出席

◆A班合同懇親会開催
（1・2・3・4班）
11月16日（水）57名出席

B班、A班の合同懇親会がひろしま国際ホテルで開催されました。新宮会長の開会挨拶に続き、28年度各事業部長、班長の紹介があり、小松顧問の御発声の乾杯で開宴となりました。参加者の皆様、良く食べ、良く喋り、良く歌ってOB会の皆様疲れ知らずの楽しいひと時を過ごした懇親会でした。

◆OB会名称変更に関するアンケ

ート調査をA班、B班の皆様に実施しました。12月中旬には、アンケートの結果を集約し1月に発表の予定です。

◆会員数の状況報告

28年11月末現在

（在籍者）A班 396名

B班 336名　合計731名

学習部ニュース

学習部部長　長田　匡白

赤い羽根共同募金活動

十一月十日（火）広島共同募金会主催の街頭募金活動に、大学・大学院と共にOB会も十六名が参加した。雨模様の中紙屋町そごう前やエディオン付近で、十二時から約四十五分間善意の心を呼び掛けた。募金額は四万五千円余り集まりました。ご協力ありがとうございました。

平成二九年講座の講師選定

十一月九日（水）執行部と学習部が協議のうえ、推薦講師三十一名の中から十一名を内定した。十一月中に講師内定者に講座を依頼し、日程・演題などを調整し、二月に二十九年度の講座計画を確定する予定です。

平和記念公園クリーンボランティア活動

十二月二日（金）快晴の中、年末恒例の清掃活動を大学・院・OB会（百五名）の総勢二百七十余名の参加で行った。慰霊碑の前に集まり黙祷、OB会新宮会長の挨拶、大学・院の学習部長の挨拶、約四十五分間清掃活動を行った。終了後、社協の山本主事に挨拶を頂き、OB会伊藤副会長の閉会の辞で、無事終了した。ご協力ありがとうございました。

OB会講座概要

［第六回　（十月）講座概要］

「こんな楽しいことがあるなんて」

現業インストラクター他

八幡　照子

心をどう伝えるか、心に響く言葉・届く言葉、感じる心、感性を磨くことで、幸せは身近にあふれている。尽くす「喜ばれる喜び」を原動力に、毎日が学びと思っている。最後に、サプライズとして、友人のオカリナの演奏で締めくくった。

［第七回（十一月）講座概要］

「尺八が歌う昭和歌謡」

～尺八は意外におもしろい～

尺八奏者・製作者　羽倉　梁山

千田学舎最後の講座は、初めての尺八演奏を企画した。美空ひばり・三橋美智也の演歌から始まり、曲間に尺八の歴史・構造・作り方などの説明を受けた。休憩をはさみ、外国の曲を交え懐かしい全二十曲の演奏を聴き、尺八の素晴らしさを堪能した。

［第八回（十二月）講座概要］

「広島市社会福祉協議会とは」

広島市社会福祉協議会　福祉課

地域福祉係　係長　村木　一雄

今年最後の講座は、新学舎で多数の出席者で開催した。ご存知のとおり、老大は社協とかかわりを持ちながら学んできた。社会福祉協議会では、地域の、「高齢者の見守り・支援活動」「ふれあい・いきいきサロンづくり」「活動の担い手を育成するボランティアバンク活動」など地域に根ざした福祉コミュニティづくりを進めている。OB会の皆さんも「住み続けたい」と思う地域づくりの輪に入りましょう。

研修部ニュース

研修部部長　山河　秀眞

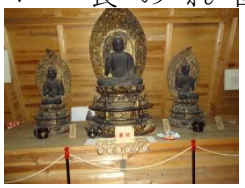
［日帰り研修旅行］

紅葉の名所・清水寺と精進料理

本場安来節とどじょう掬い観賞

本年度研修部事業計画の第二回は1月21日（月）に島根県安来市に、清水寺と精進料理・本場安来節とどじょう掬い観賞を実施しました。A班・B班合計126名の多数のご参加を戴き、バス3台で広島駅を出発しました。途中、中筋乗車の方々と合流し山陽道・中国道・松江道・国道432号と道の駅「たかの」で休憩を取りながら、「安来節会館」を目指しました。「どじょう掬い」で親しまれる民謡・安来節が毎日楽しめる。安来節の殿堂桟敷席をイメージしたホールでは、生の安来節（唄と踊り）を十分に楽しめました。約10分の「ちょこっと

体験コーナー」があり5名が参加されました。安来節観賞の後、清水寺参道にある「松琴館」で精進料理を頂きました。空腹で目前に並ぶ料理の数々、色々工夫されていて味も上品で美味しく全部おいしく頂きました。昼食後清水寺の拝観は、書院、庭園、宝蔵見学、「宝物館」、「根本堂」、「本堂」、「三重塔」は3グループに分かれて拝観をしました。この寺は、用明天皇二年（五八七年）尊隆上人によって開かれた。当時この山は一滴の水も出なかったが七日間祈願したところ聖なる水が湧出し、しかもその水が雨季にも濁る事なく、乾季にも枯れる事なく常に清い水を湛えたところから清い水の出る寺、清水寺と名付けられたと言われています。境内は自然との融合が善く図られて居り、秋の紅葉は見事なものでした。室町時代の作庭で満月の庭と呼ばれている光明閣、書院は江戸中期の書院造りで松江藩主お成りの間がありました。島根県指定文化財「三重塔」は山陰唯一の多宝塔で三階まで登れるのは大変珍しいそうです。弁当忘れても傘を忘れるなのことわざがある山陰地方も今回は意外と暖かく、晴れ間が見られる好天気の中での見学は本当に良かったと思いました。帰りは高速道、安来道、山陰道、松江道、中国道、山陽道を走行し、途中2か所で休憩、「たたらば壱番地」「安佐SA」ほぼ予定通り、全員無事広島に帰りました。今回の旅行で、参加者の皆様より、良かったと云ってもらい、又旅行中示された皆様方のご協力に対して部員一同、心から感謝申し上げます。



今後の研修部事業計画

一泊研修旅行

実施日　平成29年3月15日（水）～16日（木）

行き先　大塚国際美術館と伊弉諾神宮と王子動物園

宿泊先　洲本温泉　A・B班

皆様のご協力をいただきます様宜しくお願いいたします。

老大グループ安芸区の集い

7班36期　天畠　重博

老人大学のテキストの中に「地域社会においてリーダー的役割を果たす」とあります。老大グループでは大学・院の組織は班別の縦割り社会、0Bは横割りの感があり、サークルではきずなの深いものを感じますが、地域による繋がりが薄く感じます。その中で、老大の存在意義の一つに、地域貢献があります。円滑に地域で活動するため、大学事務局から地域の繋がりを考慮して、区ごとに何か出来ないかと相談があり、有志により区ごとに組織を立ち上げ区社協や各種団体と連携するための、基盤を造ることに成りました。今年度は、世話人が決まった安芸区・南区が先行して活動することに成り、先ず安芸区の十九期生から四十三期生までのメンバーに声掛けをして、顔合わせを十一月二十五日に海田市駅前のサンピアアキで行いました。当日は二十六名の参加があり、楽しいひと時を過ごす事が出来ました。またメンバー全員を安芸区社協へボランティア登録をし、安芸区地域福祉センターや各地域の施設などを利用して様々な催しなどを実施することにしました。

ボラセン感謝祭

千田町の社会福祉センターの移転に伴い感謝の気持ちを込めて、ボラセン感謝祭が8月28日（日）に開催されました。午前10時から開会式が始まり挨拶の後各団体の活動紹介があり、11時から芸能発表会が始まり開演の景気づけにと、開幕一番、大音響と共にお腹に響く様なリズムの和太鼓の演奏、続いて、ひょっとこ踊り、歌謡曲、バンド生演奏、踊り、楽器演奏、フラダンス、日舞、車椅子ダンス・・・と演芸が延々と続く。昼食抜きの演芸発表である。観客席は、椅子席は勿論立ち見席までも満席である。いつの間にか最後のバンド演奏となり、大盛況のうちに終了を迎えた。此処に集う皆さんの協力が有ればこそ出来た盛大な感謝祭であり、一大イベントであったと思う。皆さんご

協力頂き、本当にありがとうございました。

趣味のサークル活動

歌謡サークル

先日、千田学舎での最後の「趣味の芸能発表会」が大盛会の内に幕を閉じました。私にとっても老人大学、院の時の大学祭芸能大会、ＯＢ会での趣味の芸能発表会と大変思い出が深く老大一年生からＯＢ会の今日迄で毎回出演させて頂き、特に第20回記念大会では芸能責任者として加わり、多くの皆様にご助力頂き誠に感謝しております。今回が千田学舎での最後だと思うと、一抹の淋しさを禁じえません。さて、私達の歌謡教室では、28年度新しい仲間が５名入会され、男性14名、女性27名の総勢41名になりました。授業は毎月第２、第４の金曜日10時から12時です。但し、ＯＢ会の行事と重なる時は変更になります。主な年間行事としては、６月の新入会員歓迎会、８月の祇園公民館での歌謡大会、９月の趣味の芸能発表会へのコーラスでの参加、12月忘年会、年が明けて老大、院、ＯＢ会での合同交流会が有ります。８月の祇園公民館での大会は私達の講師、田野原俊恵先生のアルエット歌謡教室の主催で出演者は各方面から来られ百名以上にもなり我々老大、院、ＯＢ会からも30名以上の人が出演しました。特別ゲストとして東京から日本クラウンの松尾雄史さんがこられ歌とトークショウを熱演しました。彼は25歳の若手のホープです。出身は長崎でカープの大瀬良投手とは高校三年生の時の同級生で大変仲も良く大瀬良投手の電話番号は知っているけど皆さんには教えない、と言って笑いを誘っていました。歌は大変お上手で後二、三年もすれば必ず頭角をあらわして来るものと私は確信しています。私達は歌謡教室なので各行事では必ず歌を唄う機会が多く、習うだけでなく人前で唄う練習もしなくてはなりません。又これが励みにもなり熱も入ります。なかなか上手にはなりませんが、これも又良しとしましょう。大きな声で唄うと云う事は、心身共壮快になりますよ。皆さんも大きな声で唄いましょう。

（４班33期　神車　明）

大正琴サークル

大正琴の音色にひかれて

四年前写真部から卒業アルバム用にと、大正琴の写真を撮りに行き、先生を始め皆さんの明るい笑顔と音色にうっとりとしたのを覚えています。その時八班の先輩Ｓさんに誘われ又皆さんも声をかけて下さり、一寸見学と思い行ったのが最初の一歩です。最初は、どうなる事かと心配もしましたが、やれば出来る。少しずつ様になり今では楽しく出来る様になりました。又こうして芸能祭、大学祭になれば一段と張り切ります。練習が終わった後仲間と食事しながらお喋りこれ又楽し。今年は新しく四人も入会し賑やかになりました。頭の体操になります。私はまだまだ未熟ですが皆さんと一緒に勉強して行きます。楽しい大正琴サークルです。

活動日
月　二回（第二、第四月曜日）
講師　赤松　琴秦先生
（８班36期　石井　登久子）

訃報

２班30期　品川　正幸　様
平成28年10月26日（水）
80歳

３班29期　山口　早苗　様
平成28年11月22日（火）
83歳

ご逝去されました
会員一同　謹んでお悔やみ
申し上げます

編集後記

ＯＢ会ニュースも最後の発行となりました。これまで多くの方々のご支援を頂き、少しでも皆様の記憶の片隅にでも残ればとの思いで発行してきました。感謝申し上げます。これからもより良い紙面づくりに努めてまいります。今後ともこれまで同様ご支援よろしくお願いいたします。

文化部部員一同